

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 基準日 毎年3月31日
開催日 毎年6月中
- 剰余金の配当 期末配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告（事故その他やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載）
<https://www.tpr.co.jp>
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り 方法の変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取り以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

- ホームページアドレス <https://www.tpr.co.jp>

お知らせ

単元未満株式の買取制度について

単元未満株式（100株に満たない当社株式）を当社が買い取る【買取制度】がございます。

詳しくは、みずほ信託銀行（0120-288-324）にお問い合わせください。

■ 買取制度の例（150株ご所有の場合）



配当金の確定申告について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

TPR株式会社



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



第88期 中間報告書

2020.04.01 ▶ 2020.09.30

*Inclusive, Ecological,
Game-changing & Sustainable
Innovate & Expand /
Globally & Speedily*

TPR
TPR株式会社

証券コード：6463（東証一部）

株 主 の 皆 様 へ

平素は格別のご高配とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、このたびの新型コロナウイルスでお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、現在も社会・経済機能の回復にご尽力いただいている皆様に心より感謝申し上げます。

弊社第88期第2四半期連結累計期間が終了しましたので、概況につきご報告申し上げます。

新型コロナウイルスによる厳しい経営環境のもと、減収減益となりました

当第2四半期連結累計期間を取り巻く経営環境につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による行動制限や企業活動の制約が、日本を含めた世界経済の大幅な下押し要因となりました。

自動車業界につきましても、国内の自動車販売台数は前年同期比で大きく減少し、海外においても、中国市場では回復がみられるものの、それ以外の国・地域では前年同期比で大きく落ち込み、新型コロナウイルスの影響が顕在化する厳しい環境となりました。

こうした経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間については、売上高は631億円（前年同期比29.4%減）となりました。売上高の減少に伴う操業度減が響き、営業利益は3億円（同94.4%減）、経常利益は24億円（同67.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億円（同81.6%減）と前年同期比で大幅な減収減益となりましたが、原価低減活動や合理化の推進、販管費の徹底的な削減といった経営努力により、各段階の利益で黒字を維持しました。

中間配当につきましては、当期の業績、今後の不確実性ならびに株主様のご期待などを勘案し、前期比7円減配（前期記念配当2円を除く）の一株当たり21円とさせていただきます。

23中計を加速し、変容する事業環境に対応してまいります

新型コロナウイルスによる感染症については世界中で再拡大の懸念が高まっており、予断を許さない状況が続いております。弊社は引き続き感染予防と安定操業に努め、テレワークや時差出勤などの働き方改革や的確な生産管理に取組んでまいります。また、更なる原価低減や経費削減に

注力するとともに戦略的な投資も継続して、全社一丸となって業績向上に邁進してまいります。

今後は世界的な行動変容や環境意識の高まりにより、CASEなどの自動車業界を取り巻く大変革は一層加速するものと思われます。そうしたなか、弊社は本年4月にスタートした23中期経営計画で掲げた経営方針を着実に遂行し、様々なリスク要因に対処しながらお客様のニーズにしっかり応え、「受容性のある（Inclusive）、環境に優しい（Ecological）、画期的で（Game-Changing）、持続可能な（Sustainable）」成長を目指して、経営理念に掲げる「クリーンでクオリティの高い地球社会の実現」に貢献してまいります。

なお、期末配当につきましては新型コロナウイルスによる影響の見通しが難しい状況ではありますが、1株当たり21円（中間配当と合わせて年間配当42円）を予定しております。弊社としては業績向上に全社一丸で取り組み、将来成長に向けた投資と安定的な株主還元につとめてまいります。

今後とも、株主の皆様の変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月14日



代表取締役会長兼CEO
末廣 博

■ 第2四半期連結決算ハイライト

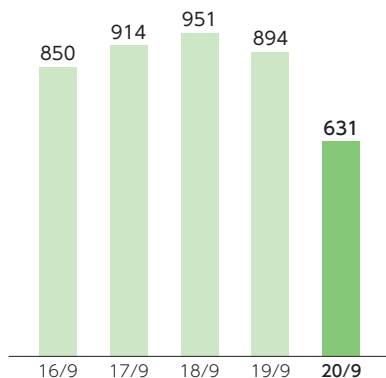
■ 売上高	631億63百万円
■ 営業利益	3億75百万円
■ 経常利益	24億15百万円
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益	9億20百万円

■ 2021年3月期通期連結業績予想

■ 売上高	1,424億円
■ 営業利益	45億円
■ 経常利益	75億円
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	29億円

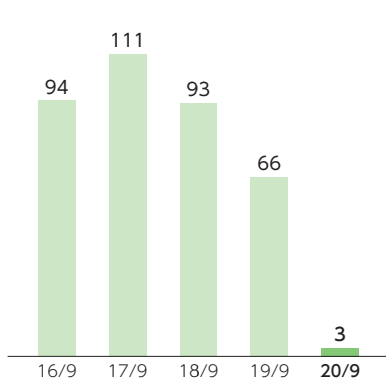
売上高 631億円（前年同期比 29.4%減）

（億円）



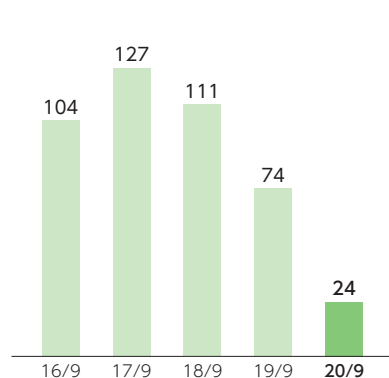
営業利益 3億円（前年同期比 94.4%減）

（億円）



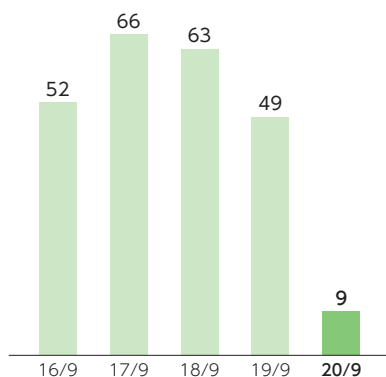
経常利益 24億円（前年同期比 67.5%減）

（億円）



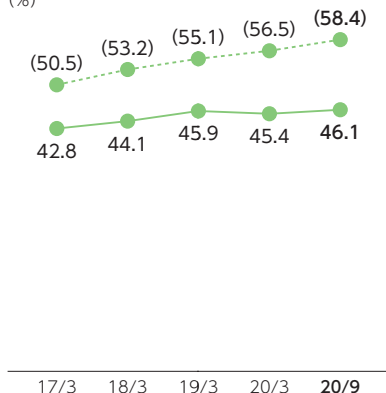
親会社株主に帰属する四半期純利益 9億円（前年同期比 81.6%減）

（億円）



自己資本比率

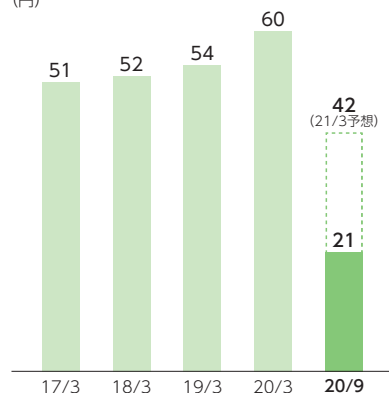
(%)



※（ ）内は、総資産から現預金を控除した場合の数値

1株当たり配当金

（円）



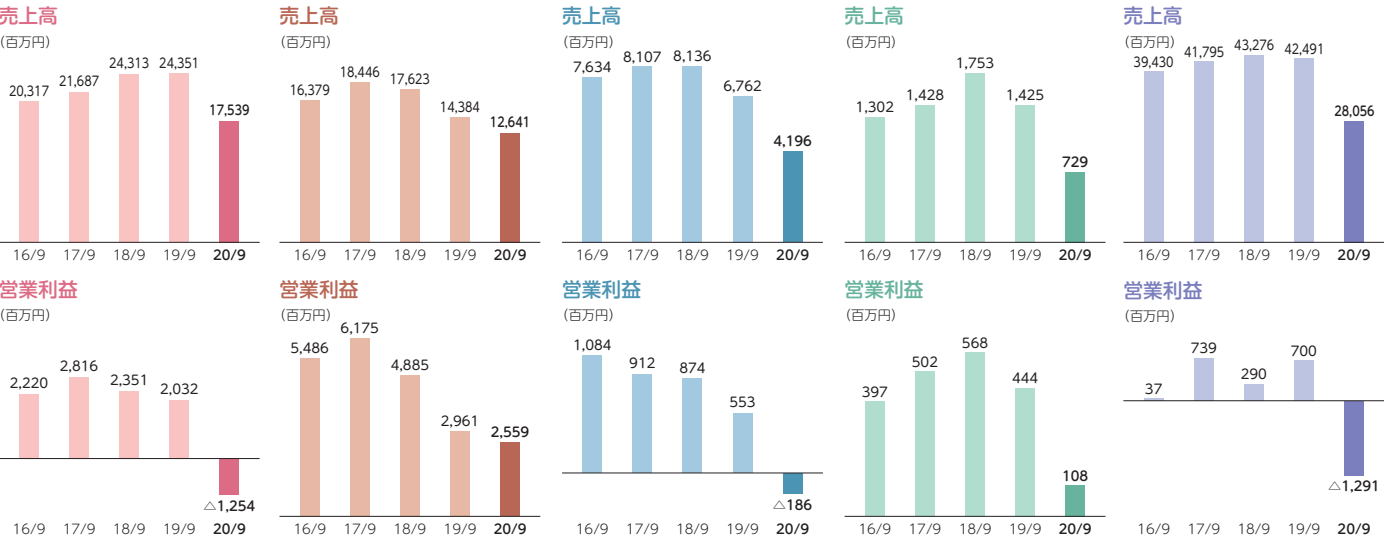
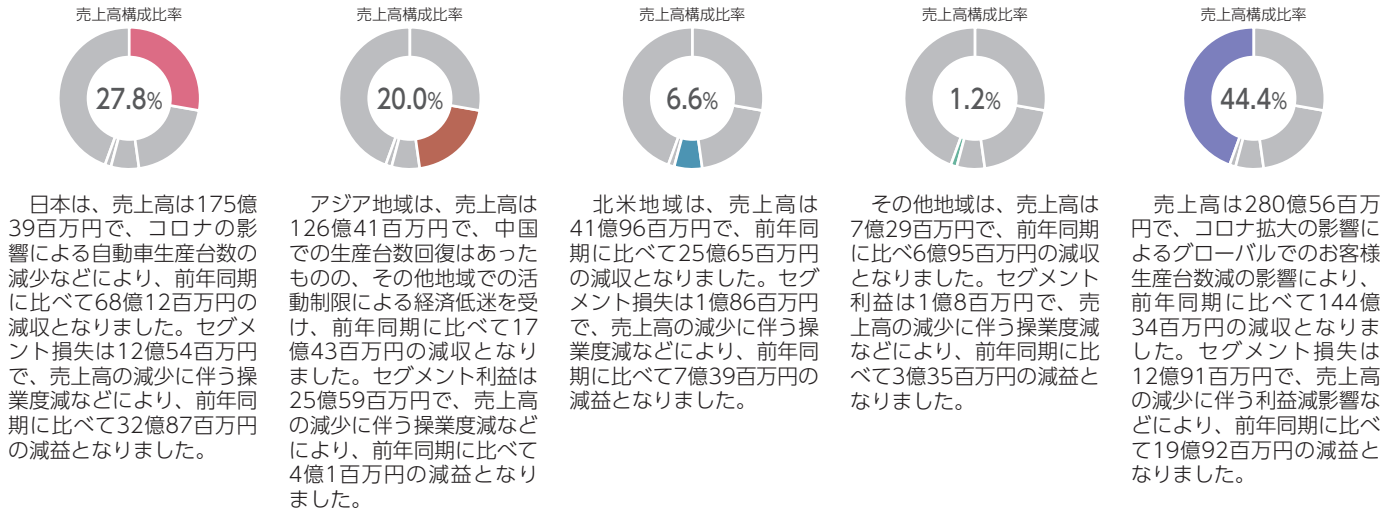
セグメント情報

セグメント業績

売上高構成比率
(当第2四半期連結累計期間)

日本 アジア 北米 その他地域 ファルテックグループ

T P R グループ（ファルテックグループを除く）



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円		
科目	当第2四半期末 (2020.9.30現在)	前期末 (2020.3.31現在)
資産の部		
流動資産	113,557	119,590
固定資産	119,280	120,867
有形固定資産	71,282	73,614
無形固定資産	2,362	2,521
投資その他の資産	45,636	44,731
資産合計	232,838	240,458
負債の部		
流動負債	64,109	70,100
固定負債	33,846	31,350
負債合計	97,956	101,450
純資産の部		
株主資本	101,185	101,329
その他の包括利益累計額	6,236	7,938
新株予約権	147	147
非支配株主持分	27,311	29,591
純資産合計	134,881	139,007
負債・純資産合計	232,838	240,458

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、59億15百万円（前年同期比32.6％減）となりました。主な資金の増加は、売上債権の減少額72億2百万円及び減価償却費52億57百万円、主な資金の減少は、仕入債務の減少額54億65百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、50億16百万円（前年同期比14.4％減）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出49億51百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、17億48百万円（前年同四半期は37億62百万円の使用）となりました。主な収入は長期借入金純増加額42億6百万円、主な支出は、非支配株主への配当金の支払額21億93百万円等によるものであります。

四半期連結損益計算書（要旨）

単位：百万円		
科目	当第2四半期 (2020.4.1～ 2020.9.30)	前第2四半期 (2019.4.1～ 2019.9.30)
売上高	63,163	89,415
売上原価	51,471	69,459
売上総利益	11,691	19,956
販売費及び一般管理費	11,316	13,310
営業利益	375	6,645
営業外収益	2,303	1,668
営業外費用	262	871
経常利益	2,415	7,442
特別利益	3	1,825
特別損失	208	69
税金等調整前四半期純利益	2,210	9,199
法人税等	601	2,175
四半期純利益	1,609	7,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	688	2,028
親会社株主に帰属する四半期純利益	920	4,995

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円		
科目	当第2四半期 (2020.4.1～ 2020.9.30)	前第2四半期 (2019.4.1～ 2019.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,915	8,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,016	△ 5,858
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,748	△ 3,762
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 595	△ 581
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,052	△ 1,426
現金及び現金同等物の期首残高	46,741	37,047
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	180
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,793	35,801

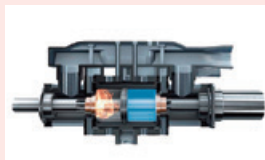
ヤマハ発動機より品質優秀賞受賞

TPRは昨年に引き続き、グローバルでのヤマハ発動機「品質優秀賞」を受賞しました。

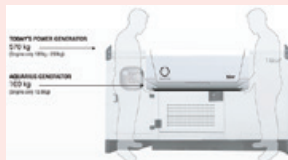
同賞は、ヤマハ発動機のグローバルでの取引先約200社のなかから、全ての拠点での品質が優秀であった取引先のみが受賞できる非常に名誉ある賞となります。



リニアエンジン開発に取り組むAQUARIUS社への出資



フリーピストン・リニアエンジン



同エンジンを内包した発電機のサイズのイメージ

イスラエルのスタートアップ企業で、超軽量のリニアエンジン開発に取り組むAQUARIUS Engines (A.M.) Ltd. (本社：イスラエル・ロシュハイン) への出資を実施しました。

同社は、従来のエンジンとは異なり、クランクや動弁系の機構を持たず、部品点数が20項目以下で構成され、サイズも非常にコンパクトで高効率なフリーピストン・リニアエンジンの実用化に成功し、同エンジンを利用した発電機市場への展開及び様々な電力供給ソリューションの提供を目指しています。

この出資を、これまで手掛けてきた自動車部品事業から隣接する新事業へ進出する足掛かりにし、当社のスローガンであるIEGS (Inclusive, Ecological, Game-changing & Sustainable) を加速させていきたいと考えております。

会社概要

- 社 名 TPR株式会社
- 所在地 〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
新丸の内センタービル
TEL：03-5293-2811
URL：https://tpr.co.jp
- 資本金 47億58百万円
- 設 立 1939年12月3日
- 従業員 792名

株式情報

株式の状況

発行可能株式数	135,000,000 株
発行済株式数	36,100,099 株
株主数	5,473 名
上記のうち議決権を有する株主数	4,773 名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株数 (株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	2,395,000	6.73
損害保険ジャパン株式会社	2,293,000	6.44
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,272,100	6.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,237,900	6.28
株式会社みずほ銀行	1,518,800	4.26
トヨタ自動車株式会社	1,320,600	3.71
ヒューリック株式会社	1,231,800	3.46
東京建物株式会社	933,687	2.62
TPR取引先持株会	882,100	2.47
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	825,000	2.31

(注) 持株比率は、自己株式 (519,857株) を控除して計算しています。(小数点第3位以下切り捨て)

所有者別株式分布状況

